



講 評

NPO 法人ふらっと代表
瀬戸本むつみ 氏

施設の皆さん、どうもありがとうございました。

それぞれ皆さんの施設の特性を生かして、それぞれにあった素晴らしい取組を聞かせていただいて勉強になりました。どうもありがとうございました。

「さやま園」さんでは、看護師さんという専門的な知識、機能を生かされた取組、素晴らしいなと思いました。そういうことを考え出されるというのは、やはり経験と専門的な知識とから生み出された取組だなと思いました。

お話の中で、歯科医師を育てて行くことも（必要）とおっしゃったのは全くの同感でございまして、保護者もその視点をもって歯科医の先生にかかっていかななくてはいけないなと思います。そのためにはどう伝えて行くか、おっしゃったように、その方の特徴をどう施設の方から伝えていくか、本当にそのとおりとすごく同感しながら聞かせていただきました。ありがとうございました。

「東京多摩学園」さんでは、重度な方が多いということで、自ら発信できる方が少なくっていらっしゃる中で、その方々の SOS、どこかに異常があるかも知れないということを、いかに早くきめ細かくつかんでいくかという工夫をなさっているところが、素晴らしいなと思いました。職員間でそういったことを情報共有していくための工夫をしていらっしゃるの、なるほどと勉強させていただきました。ありがとうございます。

「アロマ」さんのスライド、キャッチーですよ。素敵。「ああ！」と目を引きますよね。軽度の方々とおつき合いさせていただく中で、挙げていただいた4つの例って、本当にあるあるだと思うのです。特に、にって笑った時に、（汚れが）いっぱいいついていると思った時、こちらから指摘する、言うのってすごく難しいですよ。皆さんプライドもおありのときに。それを本当に、どう解決していくかということを考えて馴染みの職員さんのイラストを使ったりして、キャッチーなの、なかなかいいなと思いました。それから、くじ引きつきも。スタンプ押していただくだけでたまにご褒美より、くじ引きがついていることでわくわくするなど。あれは特許か何かでしょうか。もし、そうでなければ、使わせていただけてよろしいものではないでしょうか。他の場面でも応用できるなと思ひまして、ぜひ、使わせていただけたら嬉しいなと思っております。

「あさがお」さんでは、重度な方が多いとおっしゃりながらも、その方々が自分の歯ブラシだとかコップだとか分かりやすい工夫をしていらっしゃるというのも、なるほどと思いました。重度な方に対して、支援する方のほうが力をつけていかななくてはならない。職員さんのための歯みがきカード、本人のための歯みがきカードではなくって、支援するための歯みがきカード、それを日々更新できるような工夫をしていらっしゃる、なるほどと思い、こういうのも盗ませていただけるかなと。そういうのを情報の共有ということで、ここで皆さんお互いに共有できるといいなと思って聞かせていただきました。

「未来工房にじ」さんでは、利用者さんの自立とか自治というところにすごく力を入れていらっしゃる。とかく障害のある方は受け身になりがちです。そのとかく受け身になりがちの方々に対して自分でという意識をつけていく、利用者主体ということをよく言いますけれども、本人主体という、そういう意識づけをしていることが、ポスターの取組だとか、そういうところからも見えてくるのかなと思いました。大半の方がかかりつけの歯科医を持っていらっしゃるということにも、ちょっと驚きました。かかりつけの歯科医を持つためには、子供の頃から、その歯医者さんに通っているということができれば、本当にありがたいのですけれども、親の立場として言わせていただくと、「地域の歯医者さんのどこに行けば良いの」、「どの歯医者さんだったら診てくれるの」という情報がなかなかなくて、ぜひ、そういうかかりつけを持っている方から、この先生だったら診てくださるよという情報が、他の保護者にも流れて行くと非常にありがたいなと思いました。

今日は、会場の方からもいろいろな工夫を聞かせていただき、本当に私自身が非常に学ばせていただいた一日となりました。

どうもありがとうございました。

